

さんフェア埼玉 2021

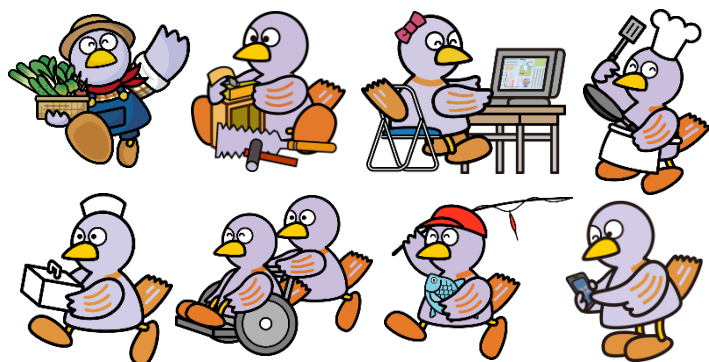


期 日：令和3年10月30日（土）

会 場：ウェスタ川越、埼玉県立川越総合高等学校

募 集 要 項

1	作品展示	1
2	ネット販売	4
3	作品・研究発表	6
4	意見・体験発表	9
5	第20回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト	12
6	第29回全国高等学校ロボット競技大会	19
7	第41回全国高校生プログラミングコンテスト	36
8	全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト	40
9	全国高校生クッキングコンテスト	43
10	全国高校生介護福祉研究発表会	51
11	参加申込方法等一覧	53
12	募集・応募フローチャート	55



埼玉県マスコット「コバトン」

【連絡先】

第31回全国産業教育フェア埼玉大会
実行委員会事務局

担当：山内 基弘

（埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内）
〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL：048-830-6769 FAX：048-830-4959

E-mail：a6760-05@pref.saitama.lg.jp

大会公式Webページ

<https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

第31回全国産業教育フェア埼玉大会 さんフェア埼玉2021 「作品展示」募集要項

1 概 要

専門高校等で学ぶ全国の高校生が、実習や課題研究等において製作した作品及び研究成果を、大会ホームページで配信する。

2 作品数（予定）

(1) 全国から募集する作品数は、原則として次の表のとおりとする。

学科	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	総合	次 期 開催県	合 計
作品 数	20	18	20	8	15	8	3	3	1	1	97

(2) 作品出展校については、原則として、各学科の全国高等学校長協会等に依頼し選定する。

(3) 予定数以上の出展については、実行委員会事務局と相談の上で決定する。

3 日 程

配信期間 令和3年10月30日（土）から令和4年3月31日（木）

4 場 所

第31回全国産業教育フェア埼玉大会ホームページ（予定）

<https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

5 内容等

(1) 配信方法

事前に提出した紹介動画を大会ホームページで配信する。

全国作品展示

【商業部会】



〇〇県立〇〇高等学校



〇〇県立〇〇高等学校



〇〇県立〇〇高等学校



〇〇県立〇〇高等学校

<イメージ図>

(2) 動画内容

学校紹介、学校の取組、学科の特色、生徒の授業風景、生徒の学習成果作品等を動画でまとめる。

(3) 動画及び写真の形式等

- ・再生時間 最長5分まで
- ・ファイル容量 1GB 程度
- ・ファイル形式
DVD-R等で保存・再生できるファイル形式
MP4、AVI、WMV、MKV、MTS、VOB、3GP、FLV、3G2、MOV、M2TS、JPEG、PNG、GIF、TIFF
(※上記以外でも、パソコン上で再生できれば可)

(4) 留意事項

各都道府県の情報セキュリティポリシーや、著作権関連法規に抵触しないよう、以下の点に留意する。

ア 音楽や写真等の利用に当たっては、教職員・生徒等の肖像権や著作権等法令上の取扱いに十分留意すること。

イ 著作権については、著作権法第35条について留意すること。

6 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書(様式1)に必要事項を記入の上、令和3年7月30日(金)までに「実行委員会事務局」へ電子メールで申し込むこと。(申込先：a6760-05@pref.saitama.lg.jp)
- (2) 動画作成及び送付に係る消耗品等の費用は、参加校の負担とする。

7 動画素材提出先

- (1) 後日、事務局が指定する委託業者に提出(送付)する。
- (2) DVD-R等の記憶媒体で、提出する。

8 実行委員会事務局

第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

(埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内) 担当 山内 基弘

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

E-mail a6760-05@pref.saitama.lg.jp

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

年 月 日

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

**第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「ネット販売」募集要項**

1 概 要

全国の専門高校等で学ぶ高校生等の、課題研究や実習等における成果物である作品、製品、生産物及び取扱商品等（以下「学校生産物等」という。）をインターネットを通じて、販売する。

2 販売期間

3 出品条件

※ネット販売について※

委託業者が確定し、打合わせの後、決定させていただきます。今しばらくお待ちください。

4 販売方法及び会計処理等

※掲載予定 8 月中旬予定※

5 申込について

6 商品紹介方法について

ネット販売商品の近くに学校の URL を貼り付けます。各学校の HP で商品の紹介を行ってください。

7 問合せ先

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

（埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内） 担当 中田 力哉 ・ 山内 基弘

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂町 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <http://sanfair.2021spec.ed.jp/>

第31回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉2021
「ネット販売」参加申込書

年 月 日

地 区 名	北海道 近畿	東北 中国	関東 四国	東海 九州	北信越 (○で囲む)	都道府県名	
学 科 区 分	農業	工業	商業	水産	家庭 看護	情報 福祉	総合 次期開催県
ふ り が な							
学 校 名	立 高等学校						
学 科 名	科						
ふ り が な							
商 品 名	商品 1					商品 2	
商 品 の 概 要 (説 明)							
担 当 者	ふりがな						
	所 属 立 高等学校						
	〒						
	住 所						
	T E L : F A X :						
	E-mail :						
	ふりがな						緊急時連絡可能な連絡先
氏 名							

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

**第31回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉2021
「作品・研究発表」募集要項**

1 概要

全国の専門高校等で学ぶ高校生が、学習や実験・実習等での作品、研究の目的・過程及び感想等についてオンラインで発表する。

2 発表数

9発表：全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合に関する学科から各1校発表を行う。

3 日程

- (1) オンラインでの発表及びライブ配信
期 日 令和3年10月30日（土）
時 間 10:30～12:30
- (2) 発表動画のインターネット上での公開
公開期間 令和3年11月上旬～令和4年3月末日

4 会場

- (1) オンラインでの発表及びライブ配信
ライブ配信会場 ウェスタ川越 活動室4
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17
TEL 049-249-3777
- (2) 発表動画のインターネット上での公開
特設HP（後日開設）

5 内容等

- (1) 専門高校等で学ぶ全国の高校生が、学習や実験・実習等での作品、研究の目的・過程及び感想等について、Web会議のアプリケーションである「Zoom」を使用してオンラインで発表を行う。
※ オンライン発表を行うためのPC及び通信環境等は発表校で準備をすること。
- (2) 発表用のスクリーンやモニターを使用してもよい。使用する際は各発表校で準備し、発表資料及び発表者がWebカメラに映るよう配慮する。
- (3) 発表時間は、1発表につき7分以内とする。
- (4) 発表動画はインターネット上で公開されるため、肖像権やプライバシー侵害等に配慮した発表とすること。公開に適さない発表と判断した場合、非公開とする場合がある。
- (5) 発表内容については、著作権侵害とならないよう、使用する画像や音楽などには十分に配慮すること。

6 表彰

発表者には奨励賞を授与する。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書（様式3）に必要事項を記入の上、令和3年7月30日（金）までに「受付・問合せ担当校」へ郵送又は電子メールで申し込むこと。

その際、大会要項等に掲載するため、発表者及び作品等の写真を電子データとして添付すること。

※ 上記期限までに発表校が決定していない場合は、事前に受付・問合せ担当校へ連絡すること。

- (2) 発表校は、発表原稿を令和3年8月31日（火）までに「受付・問合せ担当校」へ送付すること。（消印有効）

- (3) 受付・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 幸手桜高等学校	〒340-0111 埼玉県幸手市北 1-17-59 TEL 0480-42-1303 FAX 0480-40-1024 E-mail:kenmochi.mikiko.63@spec.ed.jp	校 長 出井 孝一 担当者 劔持 幹子

8 実行委員会事務局

第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

（埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内）担当 田辺 浩規

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

※整理番号

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「作品・研究発表」参加申込書

地区名	北海道 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)					都道府県名			
学科区分	農業 工業 商業 水産 家庭 看護 情報 福祉 総合 (○で囲む)								
ふりがな 学校名	立 高等学校								
学科名	科								
ふりがな 発表者	No.	氏 名	学年	男・女	No. 1 は生徒代表者 (計 名)				
	1				6				
	2				7				
	3				8				
	4				9				
	5				10				
ふりがな 発表題目									
発表要旨	(大会冊子に掲載のため、200字～300字程度にまとめること。)								
担 当 者	ふりがな 所 属 立 高等学校								
	ふりがな 氏 名								
	所在地 〒								
	TEL FAX								
	E-mail								

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第31回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉2021
「意見・体験発表」募集要項

1 概要

全国の専門高校等で学ぶ高校生が、日頃の学習で学んだことについて、体験や意見をまとめて、オンラインで発表する。

2 発表数

9発表：全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合に関する学科から各1校発表を行う。

3 日程

- (1) オンラインでの発表及びライブ配信
期 日 令和3年10月30日（土）
時 間 12:30～14:30
- (2) 発表動画のインターネット上での公開
公開期間 令和3年11月上旬～令和4年3月末日

4 会場

- (1) オンラインでの発表及びライブ配信
ライブ配信会場 ウェスタ川越 活動室4
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17
TEL 049-249-3777
- (2) 発表動画のインターネット上での公開
特設HP（後日開設）

5 内容等

- (1) 全国の専門高校等で学ぶ高校生が、日頃の学習で学んだことについて、体験や意見をまとめて、Web 会議のアプリケーションである「Zoom」を使用してオンラインで発表を行う。
※ オンライン発表を行うためのPC及び通信環境等は発表校で準備をすること。
- (2) 発表用の機械・器具を使用してもよい。使用する際は、各発表校でスクリーンやモニターを準備し、発表資料及び発表者がWebカメラに映るよう配慮する。
- (3) 発表時間は、1発表につき7分以内とする。
- (4) 発表動画はインターネット上で公開されるため、肖像権やプライバシー侵害等に配慮した発表とすること。公開に適さない発表と判断した場合、非公開とする場合がある。
- (5) 発表内容については、著作権侵害とならないよう、使用する画像や音楽などには十分に配慮すること。

6 表彰

発表者には奨励賞を授与する。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書（様式4）に必要事項を記入の上、令和3年7月30日（金）までに「受付・問合せ担当校」へ郵送又は電子メールで申し込むこと。

その際、大会要項等に掲載するため、発表者及び作品等の写真を電子データとして添付すること。

※ 上記期限までに発表校が決定していない場合は、事前に受付・問合せ担当校へ連絡すること。

- (2) 発表校は、発表原稿を令和3年8月31日（火）までに「受付・問合せ担当校」へ送付すること。（消印有効）

- (3) 受付・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 幸手桜高等学校	〒340-0111 埼玉県幸手市北 1-17-59 TEL 0480-42-1303 FAX 0480-40-1024 E-mail:kenmochi.mikiko.63@spec.ed.jp	校 長 出井 孝一 担当者 剣持 幹子

8 実行委員会事務局

第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局本部

（埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内） 担当 田辺 浩規

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

第 3 1 回全国産業教育フェア大埼玉大会
さんフェア埼玉 2021
「意見・体験発表」参加申込書

地区名	北海道 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)				都道府県名			
学科区分	農業 工業 商業 水産 家庭 看護 情報 福祉 総合 (○で囲む)							
ふりがな 学校名	立 高等学校							
学科名	科							
発表者	No. 1 は、発表代表者とする。 (計 名)							
	No	ふりがな 氏 名	学年	男・女	No	ふりがな 氏 名	学年	男・女
	1				4			
	2				5			
	3				6			
ふりがな 発表題目								
発表要旨	(大会要項に掲載のため、200字から300字程度にまとめること。)							
担当者	ふりがな 所 属	立 高等学校						
	ふりがな 氏 名							
	所在地	〒						
	TEL E-mail	FAX						

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

**第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1**
「第 2 0 回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」募集要項

1 趣 旨

全国の専門高校等で学ぶ高校生が、フラワーデザインに関する知識や技術を活用して、芸術性・創造性を互いに高め合うとともに、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質と能力を育成することを目的とする。

2 出場者

全国の専門高校等に学ぶ生徒で、各都府県 2 名以内とする。

ただし、北海道は 3 名以内（北北海道地区 1 名、東北海道地区 1 名、南北海道地区 1 名）、開催県である埼玉県は 4 名以内とする。

3 日 程

日 付	時 間	内 容
8/6（金）		参加申込み締切り
8/16（月） ～8/26（木）		オンライン説明会案内メール送付
8/27（金）	13:00 ～15:00	生徒、監督責任者対象オンライン説明会（Zoom）
9/24（金）		質問受付締切り
9/30（木）		サイズ規定と花器の発表、花材の一部発表（大会サイト）
10/20（水）		花材等の発送予定日
10/21（木）		花材等の到着予定日
10/25（月） ～10/27（水）		作品制作期間、提出物（作品、動画データ、写真データ等）送付
10/27（水） ～10/29（金）		提出物受付期間 ※10/29（金）16:00締切
10/29（金）	16:00 ～17:00	接続確認及びリハーサル（Zoom）
10/30（土） 大会当日	9:30 ～10:00	受付（Zoom）
	10:00 ～10:30	【第一部】開会の言葉、担当校生徒挨拶、会場校校長挨拶、担当校校長挨拶 来賓挨拶、来賓・審査員紹介等（Zoom）
	10:30 ～11:30	【第二部】デモンストレーション（Zoom）
	11:30 ～12:00	審査の様子公開（Zoom） ※審査時間10:00～12:00
	13:00 ～14:30	【第三部】講評、成績発表、表彰、金賞受賞者インタビュー、お礼の言葉、 閉会の言葉等（Zoom）

4 会 場

埼玉県立川越総合高等学校

〒350-0036 埼玉県川越市小仙波町5丁目14

TEL 049-222-4148 FAX 049-229-1050

5 内 容

別紙「第20回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」実施規則による。

6 表 彰

金賞1作品、銀賞2作品、銅賞2作品、審査員奨励賞5作品とする。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書（様式5）に必要事項を記入の上、令和3年8月6日（金）までに「受付・問合せ担当校」へ電子メールで申し込むこと。
- (2) 申込書（様式5）は大会Webページからダウンロードし使用すること。
- (3) 受付後に「受付・問合せ担当校」から各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会及び参加校へ、受付完了メールを送信する。受付完了メールが申込み手続き後1週間を経過しても届かない場合は、「受付・問合せ担当校」に確認を取ること。
- (4) 募集要項に関する問合せは、各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会より「受付・問合せ担当校」へ電子メールにより行うこと。
- (5) 実施規則に関する質問は、参加校から「受付・問合せ担当校」へ9月24日（金）までに電子メールにより行うこと。回答は、大会Webページに掲載する。
- (6) 参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会Webページ、大会要項等に掲載し公開することがあるので、提出データについては、本人の了解を得て送付すること。
- (7) 受付・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 いずみ高等学校	〒338-0007 埼玉県さいたま市中央区円阿弥7-4-1 TEL 048-852-6880 FAX 048-840-1048 E-mail:sanfair2021-flower@spec.ed.jp	校 長 小川 剛 担当者 中村健司

8 実行委員会事務局

第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

（埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内） 担当 中田 力哉

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「第 2 0 回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」実施規則

1 制作規定

- (1) 支給された花材・資材・花器を使用し、作品を制作する。
- (2) デザインは自由作品とする。
- (3) 作品のタイトルと説明文を、競技時間内に指定の説明用紙に記入する。
- (4) 支給された花材・資材の全てを使用する必要はないが、花器は必ず使用する。
- (5) 作品のサイズ規定は、1 ヶ月前をめどに大会 Web サイトで発表する。

2 花材・資材・花器及び用具

- (1) 花器と花材の一部は、大会 1 ヶ月前をめどに、大会 Web サイトで発表する。
- (2) 参加申込みのあった学校には、以下の物を人数分配送する。
花材一式、吸水性スポンジ、花器、ゼッケン、提出用輸送箱、発送用伝票
- (3) 使用できる用具は、次のとおりとする。
ハサミ、吸水性スポンジ用カッター類、フローラルナイフ、ステープラー、メジャー、裸ワイヤ（長さ・太さ自由）、ワイヤ用ハサミ類、フローラルテープ（色・幅自由）、エプロン、雑巾、筆記用具（シャープペン、ボールペン等）
※ワイヤは、補強・装飾に使用してもよい。

3 競技時間

制作時間は 60 分以内とする。（作品説明用紙への記入を含む）

※必ず監督責任者の下で実施すること。なお、時間超過は減点とする。

4 競技規則概要

- (1) 競技中は支給されたゼッケンをつけること。なお、ゼッケンは返却しない。
- (2) 競技場所へのピクニックシートと、競技机へのゴミ袋の設置は特に指示しない。
- (3) 競技機のサイズは指定しない。
- (4) 花器の底面に学校名と氏名を記入してから作品制作を始めること。また、花器の加工や装飾はしないこと。
- (5) 競技中の様子は開始から完成までをノーカットで撮影し、DVD 等^{※1}に保存して提出すること。なお、時間が確認できるように時計やタイマーを画面に入れること。
- (6) 競技終了後、作品を 3 6 0 度撮影した動画^{※2}を DVD 等に保存して提出すること。
なお、解説や説明等はいれないこと。

※複数生徒がいる場合は、作品が区別できるように選手と作品と一緒に撮影（3 秒間）したのちに、作品を 3 6 0 度撮影する。

- (7) 使用しなかった花材は、各校で適切に処理すること。
- (8) 作品制作と説明用紙への記入が完了した時点で、競技を終了して構わない。
- (9) 競技終了後は、作品に手を加えないこと。
- (10) 次の場合は失格とし、審査対象外とする。

ア 支給された花材以外のものが作品に含まれる場合。

- イ 支給された花器を使用していない又は花器に加工や装飾が認められた場合。
 ウ 作品の提出が、期日に間に合わなかった場合。
 エ 作品を直接会場に持ち込んだ場合。

※1 DVD 等（DVD、SD カード、USB フラッシュメモリ、記憶媒体の返却はしない。）

※2 動画（動画の保存形式は、mpeg、mpg、mpe、avi、mov、wmv、asf、flv、mp4 とする。）

5 提出物関係

(1) 競技者は、下記の物品を期日までに提出すること。

確認	提出物		数量	提出方法	用途	備考
<input type="checkbox"/>	作品		1	輸送箱同梱	審査	
<input type="checkbox"/>	説明用紙		1	輸送箱同梱	審査	
<input type="checkbox"/>	DVD 等	制作過程動画	1 ～ 2	輸送箱同梱	競技者確認 制作時間確認	時間が確認できるように撮影すること。
		作品動画			破損時の補助資料	1 分程度
<input type="checkbox"/>	写真	作品の正面	1	輸送箱同梱 メール添付	破損時の補助資料 及び HP 公開用	ファイル名は、 「学校名＋氏名」 競技者と作品の写真は、競技前、競技中、競技後の 3 枚とする。
		作品の右側	1			
		作品の左側	1			
		作品の背面	1			
		競技者と作品	3			

(2) 梱包方法について

輸送箱の梱包方法については、別紙「輸送の手引き」を参照（大会 1 ヶ月前に公開）

(3) 提出物の受付期間

令和 3 年 10 月 27 日（水）～29 日（金）16:00 必着

※作品到着時の写真を事務局からメールで参加校に送付し、提出物の受領報告とする。

(4) 作品の写真について

写真は、A4 写真用紙にプリントアウトした物を輸送箱に同梱すること。また、データを下記メールアドレスに送付すること。なお、写真は大会 HP 等で公開する。

E-mail : sanfair2021-flower@spec.ed.jp

(5) 輸送箱の送付先

〒350-0036 埼玉県川越市小仙波町 5-14

第 31 回全国産業教育フェア埼玉大会

第 20 回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト事務局

（埼玉県立川越総合高等学校内）

※ 全国一律で翌日配送とするが、交通状況による延着も考慮し余裕を持って送ること。なお、送料は事務局負担とする。

6 審査について

(1) 審査日時

令和3年10月30日（土）10:00～12:00（公開11:30～12:00） @川越総合高校

(2) 審査は、フラワーデザインに関する専門的な知識・技術を有する有識者5名により、審査の観点に基づき総合的に審査する。

※輸送による作品の破損等があった場合、補助資料を用いて不利にならないよう審査を行う。

(3) 審査の方法

【一次審査】

全作品の中から10%を選出する。

【二次審査】

一次審査通過作品を対象に審査し、受賞作品を決定する。

(4) 審査の観点及び基準

審査の観点	基準	
表現力	①	花材・資材・花器とのバランスが良く、調和がとれている。
	②	花材の特徴を生かした選択や配分が適切で、色彩への配慮がなされている。
技術力	①	花材に応じた処理が適切で、保水への配慮がなされている。
	②	吸水性スポンジのカバーやワイヤリングなど、基礎技術が確立されており、仕上がりが適切である。
独創性	①	各自が設定した作品タイトルと説明に合った作品となっている。
	②	高校生らしい自由な発想の中に、独創性や主張のあるデザインである。

7 オンライン開催の参加方法について

(1) 開会式、デモンストレーション、閉会式、結果発表、表彰等は Zoom を使用したオンラインで実施する。

(2) 参加申込みのあった学校には、後日 Zoom のミーティング ID とパスコードをメールで案内するので、指示に従って各校で参加する。

(3) オンライン参加時は、ゼッケンを着用する。

(4) 担当教員と一緒に参加も認める。競技者のみの参加の場合は、必ず同じ部屋に担当教員がいるようにすること。

(5) 双方向での参加となるので、マイクとカメラを準備すること。

(6) オンライン開催日

8月27日（金）	13:00～15:00	コンテスト概要の説明、質疑応答
10月29日（金）	16:00～17:00	接続確認及びリハーサル
10月30日（土）	9:30～10:00	受付
	10:00～10:30	【第一部】開会式、挨拶、審査員紹介等
	10:30～11:30	【第二部】デモンストレーション
	11:30～12:00	審査公開
	13:00～14:30	【第三部】閉会式、結果発表、表彰式

8 表 彰

金賞・文部科学大臣賞 1 作品

銀賞・産業教育振興中央会会長賞 2 作品

銅賞 2 作品

審査員奨励賞 5 作品

※ 受賞者には、後日賞状と盾を送付いたします。

※整理番号

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「第 2 0 回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」参加申込書

地区名	北海道（北北海道・東北海道・南北海道） 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)		都道府県名	
ふりがな				
学 校 名	立 高等学校			
ふりがな				
所 在 地	〒			
TEL				
FAX				
ふりがな				
担当者 (監督責任者)	E-mail :			
出 場 者	学 科		学 年	年
	ふりがな			
	名 前			

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

注(1) 出場者 1 名ごとに参加申込書を作成すること。

注(2) E-mail : sanfair2021-flower@spec.ed.jp あてに、令和 3 年 8 月 6 日（金）までに申し込むこと。

**第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1**
「第 2 9 回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会」募集及び実施要項
～ 未曾有の事態における新たな取組を埼玉から ～

1 趣 旨

全国の専門高校等で学ぶ生徒が、ロボット競技大会への参加を目指し、仲間と協力しながら新鮮な発想で工夫を凝らし、創造力を発揮してロボット製作するとともに、その取組のプロセス等を通して、ものづくりの技術・技能を習得し、次世代を担う技術者としての資質を向上させる。

2 参加資格

- (1) 工業に関する学科に在籍する高校生で構成されたチームとする。ただし、その他の学科からの参加希望があった場合には別途検討する。
- (2) 各都道府県教育委員会が参加を認めるチームとする。
- (3) チームは学校単位で構成し、1 チーム 5 名以内とする。

3 実施スケジュール

第 2 9 回全国高等学校ロボット競技大会は、以下のスケジュールにより実施する。

各都道府県教育委員会は、以下のスケジュールを厳守し、第 2 9 回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会事務局（以下、「大会事務局」という）に電子メールで申し込むこと。なお、申込書（様式 6－1、様式 6－2）は、第 2 9 回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会ホームページ（以下、「大会ホームページ」という）からダウンロードすること。

- (1) 仮申込 各都道府県教育委員会は、大会に参加を希望するチームを「様式 6－1」にまとめ、令和 3 年 7 月 1 2 日（月）から 7 月 1 6 日（金）の間に、大会事務局に申し込むこと。
大会事務局は、申込みのあった各都道府県教育委員会に、1 チーム分のゼッケンを送付する。
なお、仮申込は、大会への参加を希望する学校及びチーム数を把握することを目的とするものである。
- (2) 本申込 各都道府県教育委員会は、各都道府県を代表する 1 チームを選出し、令和 3 年 9 月 2 7 日（月）から 9 月 3 0 日（木）の間に、「様式 6－2」により大会事務局に申し込むこと。
なお、埼玉県教育委員会においては開催県枠として、異なる学校の 1 チームを加えて選出することができる。
- (3) 資料提出 各都道府県教育委員会に選出されたチームは、審査資料を DVD 等に収め、令和 3 年 9 月 2 7 日（月）から 1 0 月 4 日（月）の間に、大会事務局に提出すること。

なお、提出する審査資料は、「5 審査資料」を参照すること。

また、各チームから提出された審査資料は、令和3年10月7日（木）までに、大会ホームページ等で公開する。

- (4) 一次審査 各チームから提出された審査資料をもとに一次審査を行い、二次審査に進むチームを決定する。
なお、審査方法については、「6 審査方法 (1) 一次審査」を参照すること。
また、一次審査の結果は、令和3年10月20日（水）までに、大会ホームページで発表する。
- (5) 二次審査 一次審査を通過した上位チームを対象に二次審査を行い、各賞を決定する。
なお、審査方法については、「6 審査方法 (2) 二次審査」を参照すること。
- (6) 最終審査 令和3年10月30日（土）に、優秀賞を受賞した3チームを対象とした最終審査を行い、最優秀賞を決定する。
なお、審査方法については、「6 審査方法 (3) 最終審査」を参照すること。
- (7) 結果発表 令和3年10月30日（土）に、大会ホームページ及びオンラインにより結果を発表する。

4 競技規則

次の URL で公開される「第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会」競技規則を参照すること。

URL <https://sanfair2021.spec.ed.jp/robot/>

5 審査資料 ※ ①②③のすべての資料をDVD等に収め、大会事務局に提出すること。

① 完成度確認用動画

ロボットの完成度を確認するための動画を提出すること。

- ・形式 MP4等の動画形式のファイルで提出すること。
- ・動画時間 1台のカメラで競技開始から終了までをノーカットで撮影し、3分程度とすること。
- ・その他 チームの全メンバーは、大会事務局から提供されたゼッケンを着用すること。

② レポート

「4 競技規則」に則り、課題を解決するための重要な技術的ポイントや新鮮な発想で工夫を凝らしたところ、創造力を発揮したところなどを内容としたレポートを提出すること。

- ・形式 PDF形式のファイルで提出すること。作成に当たっては、ワープロ、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア等を使用すること。
- ・用紙枚数 A4判縦2枚以内でまとめること。

- ・写真掲載 写真や図面の枚数制限はない。
- ・著作権等 インターネットに公開する予定であることから、著作権等の扱いについては十分注意すること。また、他の文献等からの引用がある場合には出典を明らかにすること。
- ・フォント フォントのサイズは、9pt 以上とすること。

③ プレゼンテーション動画

「4 競技規則」に則り、課題を解決するための重要な技術的ポイントや新鮮な発想で工夫を凝らしたところ、創造力を発揮したところなどを内容とした動画を提出すること。

- ・形式 MP4 等の動画形式のファイルで提出すること。
- ・動画時間 5 分間以内とすること。
- ・学校紹介 動画のはじめに、30 秒程度の学校紹介を入れること。なお、学校紹介は、審査の対象とはしない。

6 審査方法

(1) 一次審査

各都道府県教育委員会から選出されたチームは、大会ホームページ等に公開されている各チームの審査資料を職業倫理に基づき総合的に評価し、令和3年10月7日（木）から10月15日（金）の間に、自チームを除く5チームに投票する。なお、投票方法については参加チームに電子メールで知らせる。

投票の結果、投票数の多い上位10チームを二次審査進出チームとし、10月20日（水）に大会ホームページで発表する。

ただし、投票数が同数で10チームを超えた場合、同数のチーム全て二次審査に対象チームとする。

(2) 二次審査

一次審査を通過した上位チームを対象に、審査委員会により審査し、優秀賞3チーム、優良賞3チーム、敢闘賞4チームなどの各賞を決定する。

(3) 最終審査

優秀賞3チームは、令和3年10月30日（土）に開催される「第31回全国産業教育フェア埼玉大会」において、オンライン上でプレゼンテーションを行う。

審査委員会は、審査資料及び一次審査結果、オンライン上でのプレゼンテーションを総合的に評価し、最優秀賞1チームを決定する。

※ 新型コロナウイルス感染状況及び通信環境の状況によっては、二次審査において最優秀賞を決定することもある。

7 審査委員会（予定）

審査委員会は、以下10名で構成する。

- | | |
|-----------|----|
| ① 大学関係者 | 5名 |
| ② 専門学校関係者 | 2名 |
| ③ 企業関係者 | 2名 |
| ④ その他 | 1名 |

8 結果発表及びオンラインプレゼンテーション等

審査結果及び各賞は、令和3年10月30日（土）に、大会ホームページ及びオンラインにより発表する。

また、最優秀賞等受賞チームは、オンライン上でプレゼンテーションと製作したロボットのデモンストレーションを行う。また、各賞を受賞したチームのオンラインインタビュー等を行う。

9 表 彰

(1) 全体表彰

表彰名	授 与 者	賞状	盾	優勝旗
最優秀賞 (1チーム)	文部科学大臣 (公社)全国工業高等学校長協会理事長 第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会会長 第29回全国高等学校ロボット競技大会実行委員会会長	○ ○ ○	○	○
優秀賞 (2チーム)	(公社)全国工業高等学校長協会理事長 第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会会長	○ ○	○	
優良賞 (3チーム)	(公社)全国工業高等学校長協会理事長 第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会会長	○ ○	○	
敢闘賞 (4チーム)	第29回全国高等学校ロボット競技大会実行委員会会長	○	○	

(2) 特別表彰

表彰名	授 与 者	賞状	盾	優勝旗
技術奨励賞 (1チーム)	経済産業大臣	○	○	
特別賞 (1チーム)	埼玉県知事	○	○	

10 大会事務局（第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会事務局）

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 越谷総合技術 高校	〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町3-100-1 TEL:048-966-4155 FAX:048-960-1185 E-mail:sanfair2021-robot@spec.ed.jp URL:https://sanfair2021.spec.ed.jp/robot/	校 長 市村 洋子 担当者 森木 秀明

11 問合せ

問合せは、大会事務局に電子メールにより行うこと。

なお、問合せを行う前に、大会ホームページ内に公開されている「Q&A」を参照すること。また、問合せ事項の回答は、後日、大会ホームページ内の「Q&A」に掲載する。

1 2 その他

新型コロナウイルス感染症の状況により、今後、募集及び実施要項の内容を変更することもある。その場合には、大会ホームページを通じて通知するものとする。

1 3 実行委員会事務局

第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

(埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内) 担当 大橋 亨

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
第 2 9 回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会競技規則
(更新日：2021/6/18)

1 競技内容

(1) イメージ

埼玉県の名産物である、「川越サツマイモ」、「草加せんべい」、「深谷ネギ」、「狭山茶」に関連した 4 種類のアイテムを埼玉県の各地で行われる祭りの会場エリアへ搬送し、日本一の花火玉を用いた花火大会で使用される「鴻巣 4 尺玉花火」をモチーフにした得点対象物を、打ち上げ会場エリアに搬送し、その完成度を得点で競うものである。

(2) 競技概要

競技時間は 3 分間。競技は、「川越祭りの山車」(操縦モード[競技者 1 および競技者 2])と「長瀬ライン下りの船」(自立モード)を 1 台のロボットにまとめ、2 つのモードを切り替えながら 4 種類のアイテム(得点対象物)を指定されたエリアに搬送し、「鴻巣 4 尺玉花火」を指定の台に置き、競技終了時の得点対象物の状態に応じて得られる点数の合計を競うものである。

操縦モードのロボットは、所定の場所に置かれている「川越サツマイモ(アイテム A、ペットボトル)」、「草加せんべい(アイテム B、CD-R)」、「深谷ネギ(アイテム C、VP 管およびエンドキャップとジョイント)」、「狭山茶(アイテム D、ゴルフボール)」、「鴻巣 4 尺玉花火(アイテム E、バレーボール)」を指定エリアへ搬送する。

自立モードのロボットは、障害物を避けながら指定置場へ移動する。

(3) チーム構成

参加するチームは、生徒 5 人以内の登録選手及び引率教員、ならびに生徒が製作した 1 台のロボットで構成される。

(4) ロボット及びアイテム(得点対象物)の表現

以降、ロボット及びアイテム等を次のように表現する。

・ロボット	「川越祭りの山車」＋「船」
・空ペットボトル 1000ml	「川越サツマイモ」(アイテム A)
・CD-R	「草加せんべい」(アイテム B)
・VP 25 管、TS キャップ、TS 継手	「深谷ネギ」(アイテム C)
・ゴルフボール	「狭山茶」(アイテム D)
・バレーボール	「鴻巣 4 尺玉花火」(アイテム E)

2 ロボットの規格及び製作規定

(1) 製作するロボット

「川越祭りの山車」(操縦モード)、「船」(自立モード)の切り替えを行える 1 台のロボットとする。

(2) ロボットのサイズ

外寸：幅 450mm×奥行 450mm×高さ 600mm 以内

※外寸はスタート時の形状による寸法とし、スタート後の展開は自由とする。

※コントロールボックス、コード、配線支持棒はサイズに含まない。

(3) 動力源

(ア) ロボットの動力源は、全てロボット本体に内蔵する。特に、ロボット本体とコントロールボックスに搭載した電子部品の駆動電源についても、コントロールボックスに設置せずロボット本体に設置するものとする。ただし、無線のコントロールボックス(プロポ)内の通信用電源は、コントロールボックス内への配置を認める。

(イ) 動力源は、あらかじめエネルギーを蓄えたバッテリー・バネ・ゴム・空気圧等とする。燃焼を伴う火薬・内燃機関・異臭や人体に悪影響があるガス、油圧等の使用は禁止する。

(ウ) エアー注入等危険を伴う作業をする場合は、競技中以外であっても安全メガネ(保護メガネまたはゴーグル)を着用すること。

(4) 制御方法・機構

- (ア) コントロールボックスは1個とする。
- (イ) 有線で操縦モードのロボットを制御する場合は、ロボット本体とコントロールボックスを配線コードのみで接続する。ただし、配線コードの取り回しを行うための配線支持棒は使用しても良いものとする。
- (ウ) 無線で操縦モードのロボットを制御する場合は、使用周波数が2.4GHzで、富士ソフト新ラジコンシステム、双葉電子工業（FUTABA）、三和電子機械（SANWA）、近藤科学（KO PROPO）、日本遠隔制御（JR）の各社無線機、ヴィストン株式会社製ロボット専用無線コントローラ「V-コントローラVS-C3」及びPS2無線コントローラ（Arduino用PS2シールド）並びにBluetooth、ZigBee及びWi-Fi規格の電波法に基づいたものを使用すること。それ以外の無線機を使用した場合は失格とする。（PS3、PS4のコントローラについても、有線・無線ともに使用を可とする。）
- (エ) 有線と無線のコントロールボックスの混在は認めない。
- (オ) 無線機の競技中のトラブルについては、競技者が対応すること。主催者は、一切対応しない。
- (カ) 競技開始後の展開、変形は自由とする。
- (キ) ロボットの分離（子機の使用を含む）は認めない。
- (ク) 相手チームのアイテムに影響を及ぼすような機構を搭載しないこと。
- (5) その他
 - (ア) ロボットは生徒が製作したものに限る。
 - (イ) 競技コースや各アイテムに接触する部分に、粘着性のある部材を使用することは禁止する。また、タイヤにシリコン剤や滑り止め剤などを塗布してはならない。
 - (ウ) 競技コース、会場、各アイテム等を損傷、汚濁させる部品等の使用は禁止する。特に、タイヤ等に滑り止め剤を散布したり、シリコン剤、コーキング剤、コース上に油膜を形成する素材を使用したり、アイテムと接触する部分に粘着性のある素材等を使用したり、床表面の状態を変化させるようなタイヤ痕を残す素材等を使用することを禁止する。
 - (エ) 前出（ウ）の制約に触れない素材等（布製の面ファスナー、磁石、圧力差による吸引など）を利用した機構の使用は認める。
 - (オ) レーザーポインタなど、人体に悪影響を及ぼす恐れのある装置や発光を伴う照準装置の使用は禁止する。
 - (カ) バッテリー液などを漏らすなど、競技の進行に支障をきたすことがないようなロボットの構造にすること。

3 競技コートの仕様

- (1) 全体サイズ
 - 操縦エリアを含むサイズ：5,460mm×5,460mm 正方形
 - 操縦エリアを除くサイズ：4,500mm×3,600mm 長方形
- (2) 各エリア（図1参照）
 - 競技コートは、次の（ア）～（ソ）で構成されている。
 - なお、空間に関する記載がないエリアについて、当該エリア上空は、そのエリアに属さないものとし、ロボットや競技者が侵入してもよい。各エリアを構成するための床面以外の部分（エリアを構成している直方体の側面部）には、ロボットが触れてもよいが、ロボットの荷重をかけるなどしてはいけない。
 - エリアごとに【操縦者1】および【操縦者2】の操作可能エリアが指定されている。**
 - (ア) さいたまエリア（スタートエリア）1350mm×1200mm **【操縦者1】**
 - 水平な床面でコートの高さの基準とする。ラインテープ（Scotch3M 117（黒）幅19mm）で示される450mm×450mmのエリアを底面とした高さ600mmの立方体空間である。ロボットの動作を開始するためには、このエリア内に操縦モードのロボット（「鴻巣4尺玉花火（アイテムE、バレーボール）」を含む）を一度収納する必要がある。
 - (イ) 川越エリア 1350mm×1200mm **【操縦者1】**
 - 水平な床面で「さいたまエリア」と同じ高さとする。操縦モードのロボットが自由に移動できるエリアである。このエリアには、「川越サツマイモ（アイテムA、ペットボトル）」の搬送元である「イモ畑（824mm×300mm）」が設けられている。「イモ畑」の四方は2×2材（高さ38mm）で囲まれている。
 - ※「川越イモ」は一度に3本まで、運ぶことができる。
 - このエリア内には、「狭山茶」の搬送先である「茶屋（250mm×250mm×高さ250mm）」が設けら

れている。

「川越サツマイモ」は**〔操縦者 1〕**のみ取ることができる。

イモ畑から「川越サツマイモ」の回収および茶屋に「狭山茶」を納めることができる条件は、**〔操縦者 1〕**がロボットを操作しているときに限る。

〔操縦者 1〕が行う場合、他の操作可能エリアからでも取ることができる。ただし、「船着き場エリア①」から取ることは、認めない。

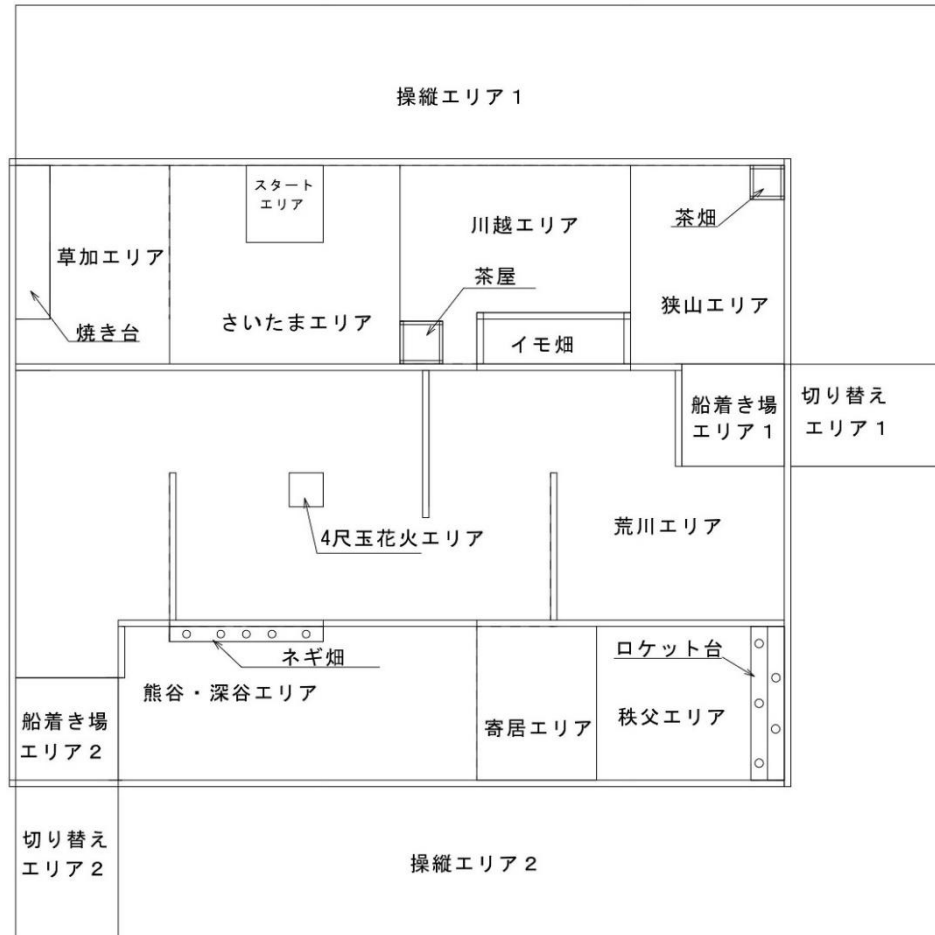


図1 競技コート

(ウ) 草加エリア 900mm×1200mm **〔操縦者 1〕**

水平な床面で「さいたまエリア」と同じ高さで、競技開始前に「草加せんべい（アイテムB、CD-R）」を配置する。「草加せんべい」は焼き台（長さ900mm×幅200mm×高さ200mm）に置き、保持する際にロボットが台に触れてもよい。ただし、焼き台の上にディスクの片面が完全に接地し、焼き台からはみ出さないように置くこと。

「草加せんべい」を焼き台から回収できる条件は、このエリアに**〔操縦者 1〕**がロボットを操作しているときに限る。

〔操縦者 1〕が行う場合、他の操作可能エリアからでも取ることができる。ただし、船着き場エリア①から取ることは、認めない。

(エ) 狭山エリア 900mm×1200mm **〔操縦者 1〕**

水平な床面で「さいたまエリア」の高さと同じとする。操縦モードのロボットが自由に移動できるエリアである。このエリアには、「狭山茶（アイテムD、ゴルフボール）」を搬送するための「茶畑（200 mm×200 mm）」が設けられている。「茶畑」の四方は1×2材（高さ38mm）で囲まれている。

「茶畑」より「狭山茶」を収穫したのち、「狭山茶」を3つ全て所持しているとき、「船着き場エリア①」より「荒川エリア」を自立モードの「船」として、移動することができる。

「狭山茶」を茶畑から回収できる条件は、**〔操縦者 1〕**がロボットを操縦しているときに限る。

〔操縦者1〕が行う場合、他の操作可能エリアからでも取ることができる。ただし、「船着き場エリア①」から取ることは、認めない。

(オ) 熊谷・深谷エリア 2100mm×900mm **〔操縦者2〕**

水平な床面で「さいたまエリア」と同じ高さ。このエリア内には、「ネギ畑」横置き2×4材に45mmの穴が設けられ、「深谷ネギ（アイテムC、VP管 呼径25mm）」の搬送元である。

また、「草加せんべい」の搬送先である「うちわ祭りの山車」が設けられている。「深谷ネギ（VP管）」はスタート時、TSキャップが上となるようにすること。

ネギ畑から「深谷ネギ」の回収および「熊谷うちわ祭りの山車」に「草加せんべい」を納めることができる条件は、〔操縦者2〕がこのエリア内において、ロボットを操作しているときに限る。

※「深谷ネギ」は一度に3本まで、運ぶことができる。

※秩父エリアの「ロケット台」に「深谷ネギ」を挿した後に「川越サツマイモ」と組み合わせ、「龍勢ロケット」にすることができる。

※「うちわ祭りの山車」は「熊谷・深谷エリア」内にチームごとに配置する。

(カ) 寄居・長瀬エリア **〔操縦者2〕**

「熊谷・深谷エリア」と「秩父エリア」を往来するための斜面で、傾斜角は約15°で一定である。頂上は「さいたまエリア」よりも200mm高い。床700mm 傾斜の長さ724.8mm

(キ) 秩父エリア 1100mm×900mm **〔操縦者2〕**

川越エリアの「川越サツマイモ」と熊谷・深谷エリアの「深谷ネギ」を各エリアから移動させ秩父エリアにある龍勢祭りの「龍勢ロケット」を完成させる。水平な床面で「さいたまエリア」よりも200mm高い。このエリアの指定場所に、「深谷ネギ」と「川越サツマイモ」の搬送先である「ロケット台」横置き2×4材に50mmの穴が設けられている。

ロケット台に「深谷ネギ」および「川越サツマイモ」を納めることができる条件は、〔操縦者2〕がロボットをこのエリア内において操作しているときに限る。

※秩父エリアの「ロケット台」に「深谷ネギ」を収めた後に「川越サツマイモ」と組み合わせ、「龍勢ロケット」にできる。

※秩父エリアの「ロケット台」に「深谷ネギ」を収めた後、「深谷ネギ」がロボットのアーム等で支持または、ロボットの一部が触れている状態で「川越サツマイモ」と組み合わせることはできない。ただし、アーム等が「深谷ネギ」に瞬間的に接触した場合は問題としない。

(ク) 荒川エリア **〔自立モード〕**

水平な床面で「さいたまエリア」と同じ高さ。操縦モードのロボットの上にコントローラを置くと自立モードとして自由に移動できるエリア。

操縦型ロボットが「狭山茶」をすべて所持した後、「船着き場エリア①」から、ロボットの上にコントローラを置き障害物（2×4材）を避けながら「船着き場エリア②」に向けて「荒川」を移動する。

また、エリアの境界線上に2×4材（862mm×3）が配置されている。操縦モードの時は、「荒川エリア」にロボットの一部も触れてはならない。

「さいたまエリア」より「荒川エリア」の上空に侵入して、「鴻巣4尺玉花火」を置くことができる。

「荒川エリア」内及び「4尺玉エリア」内に保持したアイテムを一時的にでも置くことは認めない（落としたことと同じ）。

(ケ) 船着き場エリア① **〔操縦者1〕**

「荒川エリア」内に、ラインテープ（Scotch3M 117（黒）幅19mm）で示される600mm×600mmのエリアである。コントローラをロボットの上に置くことで操縦モードから、自立モードへ切り替え、「荒川エリア」を移動することができる。

また、コントローラをロボットの上から持ち上げ、設定を変更することで自立モードから、操縦モードへ切り替え「草加エリア」、「さいたまエリア」、「川越エリア」、「狭山エリア」を移動することができる。ロボットが「船着き場エリア①」内に停止している時に〔操縦者1〕はコントローラに触ることができる。

※「狭山茶」を3つ所持しているときに「船着き場エリア①」に入り、「荒川エリア」を「船」として、移動することができる。

※ロボットの床面と接地する部分が「船着き場エリア」内に収まり、動作を停止しているとき、「操縦モード」・「自立モード」の切り替えを行うことができる。

(コ) 船着き場エリア②【操縦者 2】

「荒川エリア」内に、ラインテープ (Scotch3M 117 (黒) 幅19mm) で示される600mm×600mmのエリアである。コントローラをロボットの上に置くことで操縦モードから、自立モードへ切り替え、「荒川エリア」を移動することができる。

また、コントローラをロボットの上から持ち上げ設定を変更することで自立モードから、操縦モードへ切り替え「熊谷エリア」、「寄居エリア」、「秩父エリア」を移動することができる。ロボットが「船着き場エリア②」内に停止している時に【操縦者 2】はコントローラに触ることができる。

※「狭山茶」を3つ所持しているときに「船着き場エリア②」に入り、「荒川エリア」を「船」として、移動することができる。

※ロボットの床面と接地する部分が「船着き場エリア」内に収まり、動作を停止しているとき、「操縦モード」・「自立モード」の切り替えを行うことができる。

(サ) 4 尺玉エリア【操縦者 1】

土台部分は、「さいたまエリア」よりも113mm高い、200mm×200mmの平面。4 尺玉を置くポール部分については、「さいたまエリア」よりも1092mm高い。ロボットが「鴻巣4 尺玉花火」を鴻巣4 尺玉エリア内に設置したV P管呼び径25mm に接続されている「T S径違いソケット」(呼び径 40mm×25mm) (V P管と径違いソケットを接続した状態で長さが1080mmとなる) の上に置くことができる。

また、「鴻巣4 尺玉花火」を置くとき、ロボットがこのエリアに接触してはならない。「荒川エリア」内及び「4 尺玉エリア」に保持したアイテムを一時的にでも置くことは認めない(落としたことと同じとなる)。

T S継手 径違いソケット (A形) TS S (TS-S-40X25)

アロン化成 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 V P管 1000mm

(シ) 操縦エリア 1【操縦者 1】

各チームの【操縦者 1】が操縦モードのロボットの操作を行い移動する事ができる。

補助(配線コードの取り回し等)を行うエリア。

【操縦者 1】ならびに【補助】は、ロボットに触れることは、できない。

(ス) 操縦エリア 2【操縦者 2】

各チームの【競技者 2】が操縦モードのロボットの操作を行い移動する事ができる。

【補助】(配線コードの取り回し等)を行うエリア。

【操縦者 2】ならびに【補助】は、ロボットに触れることは、できない。

(セ) 切り替えエリア 1【操縦者 1】

【操縦者 1】が、操縦モードならびに自立モードへの切り替え操作を行うエリア。

【補助】(配線コードの取り回し等)を行うエリア。

【操縦者 1】は、ロボットの床面と接地する部分が「船着き場エリア 1」内に収まり、ロボットが停止しているとき、ロボットに触れ、操縦モードならびに自立モードへの切り替えを行う事ができる。

【補助】はロボットに触れることはできない。

(ソ) 切り替えエリア 2【操縦者 2】

【操縦者 2】が、操縦モードならびに自立モードへの切り替え操作を行うエリア。

【補助】(配線コードの取り回し等)を行うエリア。

【操縦者 2】は、ロボットの床面と接地する部分が「船着き場エリア 2」内に収まり、ロボットが停止しているとき、ロボットに触れ、操縦モードならびに自立モードへの切り替えを行う事ができる。

【補助】はロボットに触れることはできない。

(3) 留意事項

(ア) 競技コートは材料の性質上、ひずみ等による多少の誤差、段差、隙間、傷等を有するものとする。

(イ) 塩化ビニル製品やペットボトルについては、製造地域や製造時期による寸法誤差や質感等が異なる場合がある。

(ウ) 競技コートは試合の進行に伴い、場合によっては継時劣化による変形が生じることがある。

(4) アイテム及び設置、仕様等

アイテム	アイテムの設置、搬送先・得点等	仕様（メーカー・品番）
「川越サツマイモ」 （アイテムA） 1000mlペットボトル	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前に「川越エリア」にある「イモ畑」に5つ配置する。 ・操縦モードのロボットは、「イモ畑」から「秩父エリア」の「ロケット台」に搬送する。 ・競技終了時に「ロケット台」に搬送した、「深谷ネギ」の上に「川越サツマイモ」のキャップ側が刺さっている状態で点数が与えられる。 	アサヒ飲料・ウィルキンソンスパークリングウォーター 1000mlボトル（ラベルをはがし、キャップをつける。） 
「草加せんべい」 （アイテムB） CD-R	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前に「草加エリア」にある「焼き台」の上に5つ配置する。 ・操縦モードのロボットは、「焼き台」から「うちわ祭の山車」に搬送する。 	直径120mmのCD-Rを用いる。 三菱化学メディア CD-R 700MB 50枚スピンドルケース入印刷可能ホワイトレーベル SR80PP50 
「深谷ネギ」 （アイテムC） VP管呼び径25mm TSキャップ呼び径25mm TS継手ソケット呼び径25mm	<ul style="list-style-type: none"> ・塩ビ継手（TS継手ソケット呼び径25mm）及び塩ビキャップ（TSキャップ呼び径25mm）とVP管呼び径25mmを両端に接続する。 ・競技開始前に、塩ビキャップが軸方向の上になるように「ネギ畑エリア」の穴に5本立て、配置する。 ・操縦モードのロボットは、「ネギ畑エリア」から「ロケット台」に搬送し立てる。 	VP管とTSキャップ及びTS継手を組み合わせたときの長さを500mmとする。 VP管の長さは430mmとし、継手ならびにキャップを差し込んだ状態で500mmになるようにする。 アロン化成水道用硬質ポリ塩化ビニル管VP管430mm アロン化成TSキャップ呼び径 25mm アロン化成TSソケット呼び径 25mm 
「狭山茶」 （アイテムD） ゴルフボール	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前に狭山エリアにある「茶畑」の中に3つ配置する。 	ダンロップ・DDHツアースペシャル 
「鴻巣4尺玉花火」 （アイテムE） バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前にロボットに収める。 ・ロボットの大きさ幅450mm×奥行450mm×高さ600mmのうち、高さについては600mmを超えて、はみ出すことは可とする。 	モルテン製V5M5000（5号検定球） 空気圧294.3～318.8hPa 0.294～0.319bar 

4 車検

- (1) 車検は「2 ロボットの規格及び製作規定」に準じて検査する。
- (2) 車検は、各試合前に実施する。

5 競技方法

(1) 競技内容

(ア) 競技時間は最大3分間とし、競技開始の合図（ブザーの鳴りはじめ）で始まり、競技終了の合図（ブザーの鳴りはじめ）で終了する。

(イ) 競技者は、**「操縦者1」**、**「操縦者2」** 及び **「補助」** の3名以内とし、登録選手であれば競技毎に交代してもよい。ただし、競技の途中での、競技者を交代することは認めない。

(ウ) 競技者は、ロボットを準備し、コートに入場する。工具についても準備してよい。

(エ) 競技者はコートにおいて次に示す①～⑦の準備を行う

①「4尺玉エリア」のVP管に接続されている「TS径違いソケット」の上から「鴻巣4尺玉花火」を取り、ロボットに「鴻巣4尺玉花火」を搭載する。

②ロボットの構成部品（配線コードを除く）全てを「スタートエリア」に入るように置き、コントロールボックスを操縦エリア1に置く。

③「茶畑」に「狭山茶」を3個置く。

④「イモ畑」に「川越サツマイモ」を5個置く。

⑤「ネギ畑」の穴にキャップ側が上になるようにし「深谷ネギ」を5つ立てて置く。

⑥「熊谷・深谷エリア」内に「うちわ祭りの山車」を立てて置く。

⑦「草加せんべい」を「焼き台」上に焼き台より、はみ出さないように5つ置く。

※全ての設置において、治具の使用は認めない。

※なお、各都道府県大会では競技開始前90秒間で①～⑦の準備を終えることが望ましいが、判断は都道府県に委ねる。

(オ) 競技開始

競技開始の合図（ブザー）以降、**「操縦者1」** はコントロールボックスを取り上げて操縦モードのロボットを操縦し①から③を行う。**「操縦者2」** は④から⑦を行う。**「操縦者1」** は、⑨を行うことができる。

なお、競技開始の合図までに審判による準備完了確認が得られないチームは、引き続き準備を行い、審判の確認を受けてから各ロボットをスタートさせる。その間、競技時間は経過する。

①**「操縦者1」** は、操縦モードのロボットを「さいたまエリア」からスタートさせ、「狭山エリア」にある「狭山茶」を「川越エリア」にある「茶屋」に搬送する。

②**「操縦者1」** は、操縦モードのロボットで、「イモ畑」に配置した「川越サツマイモ」を保持し、「船着き場エリア①」まで搬送することができる。

③**「操縦者1」** は、操縦モードのロボットで、「草加エリア」の「焼き台」に配置した「草加せんべい」を保持し、「船着き場エリア①」まで搬送することができる。

④**「操縦者2」** は、「船着き場エリア②」より操縦モードのロボットで、「草加せんべい」を「熊谷・深谷エリア」に搬送し「うちわ祭りの山車」に飾ることができる。

⑤**「操縦者2」** は、「船着き場エリア②」より操縦モードのロボットで、「川越サツマイモ」を「秩父エリア」まで搬送する。

⑥**「操縦者2」** は、操縦モードのロボットで、「熊谷・深谷エリア」の「ネギ畑」に配置した「深谷ネギ」を「秩父エリア」に搬送する。

⑦**「操縦者2」** は、操縦モードのロボットが「秩父エリア」へ到達後、次の順序でアイテムを置くことができる。

※「ロケット台」へ搬送した「深谷ネギ」を収める。

※「ロケット台」に立てた「深谷ネギ」の上に「川越サツマイモ」を収め、「龍勢ロケット」を完成させることができる。

※「川越サツマイモ」は「川越エリア」から一度に3つまで搬送してよい。

※「深谷ネギ」は「熊谷・深谷エリア」から一度に3つまで搬送してよい。

※「深谷ネギ」と「川越サツマイモ」を同時に置き、「龍勢ロケット」とすることは認めない。

⑧自立モードのロボットは、「狭山茶」をすべて保持している時、「荒川エリア」、「船着き場エリア①」、「船着き場エリア②」を自由に移動できる。

※ロボットが保持した全てのアイテムは、移動中や移動後に落とした場合、アイテムを拾うことができないものとする。

⑨**「操縦者1」** は、操縦モードのロボットで、「さいたまエリア内」から「鴻巣4尺玉花火」を「4尺玉花火エリア」にあるVP管に接続されている「TS径違いソケット」の上に置くと競技終了となる。

※「4尺玉花火」を置くときの操縦モードのロボットの姿勢は、次の条件を満たさなければならない。

- ・「さいたまエリア」以外のエリアに接触していない。
- ・ロボットから一度離れた「鴻巣4尺玉花火」は、再度保持できない。

(カ) 競技中の注意事項

①職業倫理及びプロフェッショナルシップの醸成などの観点からルールを解釈し競技を行うこと。
②「アイテム」の回収および納める行為については、指定操縦者が指定場所以外から行ってはならない。

・操縦者1は、「草加エリア」、「川越エリア」、「狭山エリア」内にあるアイテムを「草加エリア」、「さいたまエリア」、「川越エリア」、「狭山エリア」のどの場所からでも取ることができる。

・操縦者2は、「熊谷・深谷エリア」、「秩父エリア」の指定のエリア内においてロボットを操作しているときに限り、指定アイテムを取り、置くことができる。「船着き場エリア②」や「熊谷・深谷エリア」から「秩父エリア」にアイテムを置くこと（取ることも含む）、または「船着き場エリア②」や「秩父エリア」から「熊谷・深谷エリア」にアイテムを置くこと（取ることも含む）は認めない。

③「深谷ネギ」の先端に「川越サツマイモ」を差し込む時、ロボットにより「深谷ネギ」に触れていた場合、差し込む作業を止め、触れていない状態にしてから差し込む。もし、触れた状態で差し込んでしまった場合は、その場所の「川越サツマイモ」の加点をしない。

(2) リスタート

競技者は、自チームのロボットが制御不能になったと判断した場合は、ロボットの状態を修正すること等が可能な「リスタート」を宣言できる。

また、チームが禁止行為等を行い、審判が競技者に「リスタート」を宣告すると、競技者は、点数が得られる状態となっている得点対象物を初期状態に戻す等の対応をしなければならない。「リスタート」は、ロボットを競技開始状態に戻し、審判の「始め」の合図を得て再スタートする。

なお、「リスタート」を行うと、それまでの競技で得られた点数は取り消される。競技を再開してから、再度点数が得られる状態にする必要がある。

(ア) 競技者の宣言によるリスタート

ロボットが制御不能等になった場合、競技者が宣言した「リスタート」を審判が認めると、競技者は、ロボットの修理等を行った後、競技に復帰させることができる。「リスタート」を宣言後、競技を再開するまでの手順は、次のとおりとする。

①競技者は、審判に伝わるように「リスタート」を宣言する。

②宣言が審判に認められたら、直ちに各ロボットを停止させ、操縦エリアに置いて修理等を行う。

③競技コート内のアイテム等は、全て競技開始前の状態にして審判に「リスタートの申請」を口頭で行い、競技再開を許可されたら「スタートエリア」より競技を再開する。

(イ) 審判の判断によるリスタート

審判は、競技中に次①～⑤の状態が生じた時、選手に「リスタート」を宣告する。

①競技中に、審判の許可なく、競技者がロボットやコート、アイテム類に触れた場合。なお、操縦エリアの鉛直空間内で、競技者が意図しないところで得点対象物と接触した場合など、明らかに得点の増減に影響しないと審判が判断した場合は、リスタートを宣告しない場合もある。

②競技者が、審判の確認を受けずに、競技を開始もしくは競技を再開した場合。

③操縦モードのロボットが、「荒川エリア」に接触した場合。

④自立モードのロボットが「荒川エリア」、「船着き場エリア①」、「船着き場エリア②」以外のエリアに触れた場合。

⑤ロボットが移動するとき、「操縦モード」・「自立モード」に関わらず、仕切りや障害物（2×4材）の上をロボットの床と接する面（タイヤ等）で乗り上げ、移動した場合。

⑥審判が、競技の公平性やコートの仕様を損なう状況が生じたと判断した場合。

※自立モードのロボットが通常の動作をできず、コートを著しく壊す恐れがある場合は、審判の判断によりロボットを緊急停止し競技を終了させる。

※以下の6～11については参集型の埼玉大会を想定したものである。
県代表を決める手段の参考とする。

6 得点

競技中に(1)または、(2)の状況を満たした場合、その状況に応じた点数をチームに与える。
競技終了時に(3)～(7)に示す状況を満たしている場合は、その状況に応じた点数をチームに与える。その競技におけるチームの得点は、与えられた点数の合計とする。

- (1) 自立モードのロボットが「狭山茶」を3つ保持した状態で「船着き場エリア①」より出発し、「船着き場エリア②」に到達したら一度のみ5点を与える。
- (2) 自立モードのロボットが「狭山茶」を3つ保持した状態で「船着き場エリア②」より出発し、「船着き場エリア①」に到達したら一度のみ5点を与える。
- (3) 「草加せんべい」が「うちわ祭りの山車」の指定箇所に置かれている場合、1つにつき1点を与える。
[最大得点：5本×1点＝5点]
- (4) 「深谷ネギ」が「ロケット台」に差し込んである状態なら1点を与える。
[最大得点：5本×1点＝5点]
- (5) 「川越サツマイモ」が「深谷ネギ」の上に収まっている状態の場合は、1つにつき3点を与える。
[最大得点：5個×3点＝15点]
- (6) 「狭山茶」が「茶屋」に置かれている場合は、1つにつき1点を与える。
[最大得点：3個×1点＝3点]
- (7) 「鴻巣4尺玉花火」が「4尺玉花火エリア」に置かれているVP管に接続されている「TS径違いソケット」の上に置かれている場合、2点を与える。
[最大得点：2点]

7 勝敗の判定基準

次の順序で勝敗(上位)を判定する。

- (1) 全てのアイテムを指示のとおり搬送を終えた時間が早いチームを勝ち(上位)とする。
- (2) 得点の高いチームを勝ち(上位)とする。
- (3) 「龍勢ロケット」の完成本数の得点(6(5)の得点)が高いチームを勝ち(上位)とする。
- (4) 「うちわ祭りの山車」にかかっている「草加せんべい」の数が多いチームを勝ち(上位)とする。
- (5) 「鴻巣4尺玉花火」を4尺玉の指定場所に置けたチームを勝ち(上位)とする。
- (6) 「狭山茶」を「茶屋」に届けた数が多いチームを勝ち(上位)とする。
- (7) ロボットの総重量が軽いチームを勝ち(上位)とする。
- (8) 各チームの代表競技者1人によるじゃんけんで勝ったチームを勝ち(上位)とする。

8 失格

- (1) 集合時刻までに車検に合格できず集合できなかった場合。
- (2) コース、アイテムを次の競技に影響する損傷・汚濁をさせた場合。
- (3) 競技中に外部から競技者に指示を行った場合。
- (4) 競技の公正を害する行為、または言動があった場合。
- (5) 審判の指示に従わなかった場合。
- (6) 審判に申告せず、リスタートを行った場合。
- (7) 競技中に外部と携帯電話・無線機・情報機器等による通信を行った場合。
- (8) 競技者が招集時間内に、集合しなかった場合。
- (9) 競技場にゼッケンを着用した競技者3名以外のチーム関係者が立ち入った場合。
- (10) 無線機の電波を故意に妨害した場合。
- (11) 「2 ロボットの規格及び製作規定」及び「5 競技方法」、「8 競技上の注意事項」を守らなかった場合。

※失格については、得点集計時に審判長、副審判長、主・副審判を交えて確認し、競技者に申し渡す。

9 異議申立て

審判の判定に対し、異議の申立てをすることはできない。なお、得点については、主審が集計した後、主・副審判が競技者の代表1名に得点の確認を行うので、競技者の代表1名は、確認後、集計表に署名すること。署名後は、一切の異議を申立てることはできない。

10 その他

- (1) 不測の事態が生じた場合は、大会役員が協議して対処を決定する。
- (2) 大会中に発生した怪我・事故等については、主催者は一切責任を負わない。
- (3) チーム構成員は、大会が選手の学習活動の場であることを認識し、競技の安全性や公平性、大会の円滑な運営の確保に努めることを、行動規範として定める。行動規範に基づく行動の具体として考えられるものを、以下に列举する。
 - (ア) ロボットが発煙等の危険な状態に陥った場合や競技コートの状態を損なう可能性が生じた場合は、勝敗よりも安全を優先し、審判による「リスタート」の宣告を待たずに、事態が発生する前に競技者自らが「リスタート」を宣言する。
 - (イ) 怪我や物損防止のため、ロボットを運搬する台車を用意する。
 - (ウ) 劣化したバッテリーを使用しない。
 - (エ) ロボットの誤動作を速やかに停止できる非常停止用ボタンを搭載する。
 - (オ) 空気圧源のタンクにテープを巻いて破裂時の危険性を避ける。
- (4) 教育的効果を高める観点から、主催者及び競技関係者は、ロボットや選手の様子等を記録し外部に向けて発信することがある。

11 競技に関する問合せ

- (1) ①学校名、②学科名、③担当教員職名及び氏名、④問合せ内容を明記し、ロボット競技大会埼玉大会問合せメールアドレスへ電子メールにより行うこと。回答は、Q&Aを第31回全国産業教育フェア埼玉大会第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会ホームページにより公開する。
- (2) ロボット競技大会埼玉大会問合せメールアドレス
sanfair2021-robot@spec.ed.jp
- (3) 第31回全国産業教育フェア埼玉大会第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会ホームページURL
<https://sanfair2021.spec.ed.jp/robot>

※整理番号

様式 6-1

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「第 2 9 回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会」

仮 申 込 書

令和 3 年 7 月 日

都道府県名		都 道 府 県	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
ふりがな		全日制・定時制等	参加チーム数
学 校 名	高等学校	制	
県大会等参加予定 チーム総数	チーム		
教育委員会 担当者	職 名	ふりがな	
		氏 名	
	TEL	FAX	
	E-mail		

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

※整理番号

様式 6-2

第31回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉2021
「第29回全国高等学校ロボット競技大会埼玉大会」

本 申 込 書

令和3年 9月 日

都道府県名					
ふりがな				全日制・定時制等	
学校名	高等学校			制	
ふりがな				郵便番号（半角）	
学校所在地				-	
ふりがな					
チーム名 (10文字以内)					
生徒 5名以内	ふりがな			学年	
	氏 名			学科	科
	ふりがな			学年	
	氏 名			学科	科
	ふりがな			学年	
	氏 名			学科	科
	ふりがな			学年	
	氏 名			学科	科
担当者	職名			ふりがな	
	TEL			氏 名	
	代表担当者 E-mail				

○参考

リモコン型ロボットの リモートコントロールの 種別	有線・無線	<input type="checkbox"/> 2.4GHz <input type="checkbox"/> Vコントローラ VS-C3/Arduino用PS2シールド <input type="checkbox"/> Wi-fi/ZigBee <input type="checkbox"/> Bluetooth <input type="checkbox"/> 赤外線 <input type="checkbox"/> その他	周波数帯2.4GHzの場合のメーカー名
	線		

※ 申込み完了は、「大会事務局」から担当者へ電子メールで通知する。

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
全国高校生プログラミングコンテスト募集要項

1 趣 旨

全国の工業高校等に学ぶ生徒に、創造力を発揮した新鮮な発想でのプログラムの作成を通して、作る喜びや達成感、ものづくりへの興味関心を高めさせるとともに、次世紀を担うスペシャリストとしての資質を向上させる。

2 応募資格

全国情報技術教育研究会に加入している高等学校に在籍する生徒を原則とする。
但し、その他の学校からの参加申し出があれば、別途検討する。

3 期 日

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、実施方法を検討中です。詳細は後日、全国情報技術教育研究会のホームページでお知らせします。

4 会 場

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、WEB 上での実施を検討中です。詳細は後日、全国情報技術教育研究会のホームページでお知らせします。

5 課 題

詳細については、次の URL で発表する。

<http://www.zenjouken.com/> 全国情報技術教育研究会ホームページ

<http://www7019ug.sakura.ne.jp/> CHaserOnline

発表時期 令和 3 年 5 月下旬より、順次発表する。

※Q&A や過去の参考ページも全国情報技術教育研究会ホームページにて公開予定。

※初参加でもホームページのヒント集を利用すれば、生徒の力だけでも参加できるようになっています。

6 応募期間

参加申込期間 令和 3 年 5 月 2 8 日（金）から 8 月 6 日（金）まで

※以降、作品のエントリーは、「8. 予戦及び本戦」に準ずる。

7 応募方法

(1) 参加申込

校長を通じ、参加申込書を参加申込期間内に、担当校に電子メールにて提出すること。

※申込書は、1 作品につき 1 通提出する。

※1 チーム 5 名までとする。なお、同一生徒が複数チームに所属しても構わない。

※申し込み後のメンバ変更は認めない。

※作品は、1 チーム 1 作品応募しても良いし、複数作品応募しても構わない。但し、1 校当たり 5 作品以内とする。

(2) 競技へのエントリー

以下の「8. 予戦及び本戦」に準ずる。なお、第2次予戦に提出する場合、作品（リスト、ドキュメント等）に、操作説明書を添えて、担当校に提出すること。尚、クライアントは競技の仕様に沿った作品を提出するよう留意すること。

(3) 担当校（全国高校生プログラミングコンテスト運営委員会事務局）

学 校 名	所 在 地	担 当 者
埼玉県立 三郷工業技術高等 学校	〒341-0003 埼玉県三郷市彦成3-325 TEL 048-958-2331 FAX 048-949-1024 E-mail zenprocon@zenjouken.com	校 長 石塚 貴久 担当者 稲田 正之

8 予選及び決勝

第1次予戦：令和3年8月17日（火）より8月30日（月）19：00までの期間内に、オンラインにより規定の対戦に参加をする。その結果および対戦ボーナスが集計され、上位16チームが第2次予戦に進出する。但し、同一校で複数チームが上位16位以内に入った場合、第2次予戦進出チームはより上位の1チームのみとする。参加校数が16校未満の場合は、更に2チーム目を上位から補充し全16チームとする。

第1次予戦結果発表予定 9月6日（月）

※対戦ボーナスの詳細は全国情報技術教育研究会ホームページを御覧ください。

第2次予戦：第1次予戦を通過したチームは、令和3年9月13日（月）までに上位クライアントを担当校に提出する。運営委員会により第2次予戦を実施し、上位8チームを決め本戦進出チームとする。但し、同一校で複数チームが上位8位以内に入った場合、本戦進出チームはより上位の1チームのみとする。

なお、事前の動作確認は行わないので操作確認書通りに操作しても動作しなかった場合は負けとする。

第2次予戦結果発表予定 9月29日（水）

本 戦：新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、実施方法を検討中です。
詳細は後日、全国情報技術教育研究会ホームページでお知らせします。

9 表 彰

本戦進出チームには、全国高校生プログラミングコンテストにおいて表彰し、賞状及び副賞を授与する。

10 応募作品の取扱い

- (1) 応募作品の著作権は、応募者に属するものとする。また、使用权は全国高校生プログラミングコンテスト運営委員会に属するものとし、応募作品は、原則として返却しない。
- (2) 応募作品は、各都道府県の産業教育フェア会場等において展示を行うことがある。
- (3) 応募作品は記録集等に掲載し、全国情報技術教育研究会のホームページ上などで

紹介する。

1 1 その他

- (1) 全国高校生プログラミングコンテストは、全国工業高等学校長協会（全工協会）のジュニアマイスター制度の対象となる。 <http://www.zenkoukyo.or.jp/jm/jm.html>（全工協会ホームページ）
- (2) 本戦出場にかかる旅費等の費用については参加者の負担とする。
- (3) 本戦出場で使用するコンピュータは参加者が準備をする。
- (4) コンテストの様子等について写真や動画による撮影を行う。なお、写真や動画についてはコンテストのホームページや記録集などの広報活動で利用する。
- (5) 本戦は参加人数や大会形式などの変更がある場合には別途通知する。
- (6) 今後の情勢次第で大会内容の変更を行う場合もあります。

1 2 問合せ

問合せは、担当校に電子メールで行うこと。なお、Q&A をホームページ上で公開する。
○ホームページ <http://www.zenjouken.com/>（全国情報技術教育研究会ホームページ）

様式7

2021年度 第41回全国高校生プログラミングコンテスト参加申込書

地区名		都道府県名	
学校名		全情研番号	
所在地		電話番号	
担当教員情報			
	学科	氏名	ふりがな E-mail
1			
2			

チーム名				
参加生徒情報				
	学科	学年	氏名	ふりがな
1				
2				
3				
4				
5				

	OS	言語	備考
開発環境			
実行環境			

1作品に通ずつお申込ください。

ユーザID、パスワード発行には時間がかかる場合もありますので早めにお申込ください。

予戦期間中は本申込書ユーザのみが対戦可能となります。

この申込書を下記のE-mailアドレスまで送ってください。

E-mail: zenprocon@zenjouken.com

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト」募集要項

1 概要

本コンテストは、商業高校や総合学科高校において商業を学ぶ高校生が、マーケティング分野を中心とした商業教育を通じて得た知識・技術を社会・経済生活に生かす実践的な知識・技術へと進化させることを目的とする。

全国の高校生が、日本大学商学部の岸本徹也教授ゼミナールの学生が作成する、早押し問題を通じてマーケティング等に関する豊富な知識・技術の習得を図るとともに、チーム問題を通じて思考力・判断力・表現力等を育み、ケース問題を通じて主体性・多様性・協働性等を身に付ける。

協賛：一般社団法人日本販売士協会

2 参加校・参加生徒

二部制：各部とも 10 校 20 名・10 チーム（各校 2 名）で実施し、各チームは学校混合とする。

3 日程

オンライン上でのコンテストの実施とインターネット上での配信

期 日：令和 3 年 10 月 30 日（土）

時 間：Ⅰ（午前）部 10:00-11:30 Ⅱ（午後）部 13:00-14:30

4 会場

(1) オンライン上でのコンテストの実施

参加校から Web 会議システム（Zoom）にて参加

(2) インターネット上での配信

特設ホームページ（大会ホームページ）上から全国へ配信（配信方法・時刻等は、後日ホームページ上で周知）

5 内容等

- (1) 日本大学商学部の岸本徹也教授ゼミナールの学生が企画運営しながら、マーケティング等に関するクイズを作成し出題する。
- (2) そのクイズに対して、全国から集まった商業高校生等が解答し得点を競い合う。
- (3) この競い合いに加えて、「なぜ?」「どうして?」を問う学び合いを進める。
- (4) コロナ禍の中、Web 会議システム（Zoom）を用いて非接触型のコミュニケーションを行いながら、マーケティングに関する知識・技術を習得する。
- (5) 学校混合型のチーム編成により、主体性をもって多様な人々と協働しながら思考力・判断力・表現力等の育成や学びに向かう力・人間性等の涵養を図る。
- (6) 高校生と大学生の交流を通じて、相互の学力を向上させる。

※コンテストのダイジェスト動画（約 5 分間） <https://youtu.be/Fb9RKJ1ow9A>

6 表彰

出場校・出場生徒には入賞や奨励賞等を授与する。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の参加申込書（様式 8）に必要事項を記入の上、令和 3 年 7 月 15 日（木）までに「受付・問合せ担当校」へ電子メールで申し込むこと。

その際、各都道府県教育委員会の「全国作品展示」の担当校（商業）は、積極的に申し込みをお願いしたい。

- (2) 「受付・問合せ担当校」は、出場校・出場生徒を 7 月 30 日（金）までに決定し、出場校へ連絡（メール）する。
- (3) 出場校の出場生徒は、8 月 20 日（金）の午後（第 1 部出場校：午後 1 時～、第 2 部出場校：午後 3 時～）のリハーサル（コンテスト練習会）に参加する。

※リハーサル参加を本コンテストの参加申込の条件とする。

- (4) 出場校は、インターネットに接続したパソコン、Web カメラ、マイク・スピーカー（もしくはヘッドセット）について出場生徒数分を準備する。

※出場生徒 2 名が同じ教室から参加する場合は、ハウリング対策（ヘッドセットの準備等）をお願いしたい。

- (5) 受付・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 浦和商業高等学校	〒336-0022 さいたま市南区白幡二丁目 19 番 39 号 TEL 048-861-2564 FAX 048-836-1057 E-mail : p612564b@pref.saitama.lg.jp	校 長 内田 靖 担当者 手島 明良

8 実行委員会事務局

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

（埼玉県教育局高校教育指導課内） 担当 山内 基弘

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2021
「全国商業高校生リテールマーケティング・コンテスト」参加申込書

地区名	北海道 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)	都道府県名	
学科区分	商業 総合 (○で囲む)		
ふりがな 学校名	立 高等学校		
学科名	科		
出場希望部	① 10:00-11:30 () ② 13:00-14:30 () ③ どちらでもよい () ※ 二部制で実施する。いずれかに希望がある場合は「①」や「②」の括弧内に希望順位に応じて「1」「2」の数字を記入する。特にない場合は、「③」の括弧内に「○」を記入する。		
ふりがな 出場生徒	No.	氏 名	学年 男・女
	1		
	No.	氏 名	学年 男・女
	2		
	※ 最終的な出場生徒は、参加校決定後に再度確認する予定である。		
担 当 者	ふりがな 所 属 立 高等学校		
	ふりがな 氏 名		
	所在地 〒		
	TEL FAX		
	E-mail		
備 考			

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

**第31回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉2021
「全国高校生クッキングコンテスト」募集要項**

1 趣 旨

近年”SDGs”など持続可能な社会の実現を目指す取組が注目されている中で、全国の高校生がこれまでに家庭科で学習した知識と技術を生かし、「チャレンジ！フードロス 未来につなぐワンプレートランチ」を創作する機会を設ける。埼玉大会では、開催地の川越市特産のさつまいもと参加者の郷土の特産物を生かした昼食を創作することを通して、環境や消費に関心を高め、消費者市民社会の一員であることを自覚する。そして、未来を担う職業人として求められる調理技術の向上及び、問題解決能力や社会へ生かそうとする人間性の育成を図る。

2 日 程

期日 令和3年10月30日（土）

3 会 場

ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1丁目17-17

<https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

4 内 容

別紙「高校生クッキングコンテスト」実施規則による。

5 表 彰

金賞 1校 銀賞 1校 銅賞 1校 特別賞 5校

6 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、参加申込書（様式9-1）エントリーシート（様式9-2）に必要事項を記入の上、7月20日（火）から8月13日（金）まで（必着）に「募集・問合せ担当校」へ郵送で申し込むこと。
- (2) 応募作品について
 - ア エントリーシート（様式9-2）には、完成した作品の写真を貼付すること。
 - イ 応募作品（書類）は、原則として返却しない。
 - ウ 第2次審査の詳細については、第1次審査通過校に「募集・問合せ担当校」から連絡する。
- (3) 応募作品の取り扱い
応募作品の知的財産権は応募者に帰属するが、その展示・公開及び出版等は、主催者が自由に行えるものとする。
- (4) 参加生徒の名前、肖像等の個人情報に大会要項等に掲載し公開することがあるので提出書類の作成に当たっては、本人および学校の了解を得て作成すること。

(5) 募集・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 越谷総合技術高等学校	〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町 3-100-1 TEL : 048-966-4155 FAX : 048-960-1185 E-mail: sanfair2021-cooking@spec.ed.jp	校 長 市村 洋子 担当者 七社 早紀子 (食物調理科)

7 実行委員会事務局

第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

(埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内) 担当 原口 真理子・石田 実里

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

**第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「全国高校生クッキングコンテスト」実施規則**

1 実施方法

- (1) 書類による第 1 次審査と、自校での調理実技と作品紹介の様子を収めた動画による第 2 次審査を行う。
- (2) 参加対象は全国で家庭科を学ぶ高校生とする（専門学科に限らない）。
- (3) チーム 2 人とする。（同一校）

2 会 場

ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 1 丁目17-17

<https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

3 実施日程

(1) 応募・審査等

項 目	期 間	備 考
応募期間	令和 3 年 7 月 20 日(火) ～ 8 月 13 日(金)	郵送による応募とする。
第 1 次審査	令和 3 年 8 月下旬	書類による審査とする。 審査結果は書類で通知する。
第 1 次審査結果発表	令和 3 年 9 月上旬発表	第 2 次審査対象校と連絡をとり、実施細目等の打合せを行う。
第 2 次審査用データ提出期限	令和 3 年 9 月下旬	実施規則 5 (3)による
第 2 次審査	令和 3 年 10 月上旬	動画による審査とする。
第 2 次審査結果発表	令和 3 年 10 月 30 日(土)	結果発表及び表彰を行う。

(2) コンテスト

項 目	場 所	内 容
審査	オンライン会議	提出された動画を審査する。 審査員による調理実技動画の観察及び作品紹介によって評価を行う。
表彰式	ウェスタ川越	オンラインによる表彰（金賞・銀賞・銅賞・特別賞）を行う。

4 実施条件

- (1) 「チャレンジ！フードロス 未来につなぐワンプレートランチ」のテーマに則すること。
- (2) フードロス削減のポイントを各チームで設定し、対象者に適した料理を工夫する

こと（工夫した点等を様式9－2のアピールポイントに記述すること）。

(3) 規定材料は以下の通りとする。

- ・さつまいも
- ・参加者の地域の「郷土の特産物」を使用する。

(4) 材料費は1食分500円以内であること。

(5) その他

- ・40分以内に1食分の調理及び盛り付けができること。
- ・40分に含める作業
調理操作（材料を洗う、切る、皮むき、加熱等）
- ・40分に含めない作業
調理作業・食器・材料の準備（出汁をとる、乾物を戻す）、調味料の計量、炊飯、器具の片付け、洗い物
- ・調理及び盛り付け時間の延長は認めない。

(6) ハム、ウインナー、魚肉ソーセージなどの加工品は使用してよいが、半調理製品（レトルト・冷凍食品など）は使用しないこと（素材の使用に限り缶詰類も可）。

(7) パンは使用してよいが、調理済み（惣菜）パンは使用しないこと。

5 学校紹介・自己紹介・作品紹介、調理技術の動画について（第2次審査対象校のみ）

(1) 次の2つの動画等ファイルを提出すること。

- ① 学校紹介・自己紹介・作品紹介
- ② 調理実技

(2) 撮影の注意点は以下の通りとする。

- ① 学校紹介・自己紹介・作品紹介（調理動画も含む）を15分以内で動画を撮影し提出する。PowerPoint等発表方法は、自由とする。
- ② 調理実技の様子がわかる動画を撮影する。
 - ・時計またはタイマーが見える位置に配置し、調理時間がわかるようにする。
 - ・調理者2名が常に映っている状態で撮影する。
 - ・可能な限り、手元や調理台の様子がわかるように工夫する。
 - ・競技開始時は「競技はじめ」、競技終了時は「競技終了」の号令をかけ、最初から最後まで撮影をする。
 - ・調理実技の動画編集は認めない。編集した場合は失格とする。
 - ・調理終了後、くず入れの中身を撮影し、重量を計る動画を入れる。
- ③ 調理実技及び作品紹介のみを審査対象とする。

(3) 動画の形式等

- ① ファイル容量 2つの動画等ファイル合計1GB程度
- ② ファイル形式 YouTubeでサポートされているファイル形式
MOV、MPEG4、AVI、WMV、MPEGPS、FLV、3GPP、WebM
- ③ 画面縦横比 16：9
- ④ 留意事項

著作権関連法規に抵触しないよう、以下の点に留意する。

ア 音楽や写真等の利用に当たっては、教職員・生徒等の肖像権や著作権等法令

上の取扱いに十分留意すること。著作権については、著作権法第35条について留意すること。

(4) 提出先及び方法

第2次審査対象校は担当校より送付されたUSBメモリに保存し、下記担当校宛に郵送により提出すること。

※ ファイル名 【学校名】学科名 (例：【越谷総合技術高校】食物調理科)
(送付先)

〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町3丁目100-1

埼玉県立越谷総合技術高等学校 食物調理科 七社 早紀子

6 審査方法

(1) 第1次審査

書類審査とし、作品規定に合っているかを確認後、その中から優れたものを選出する。

(2) 第2次審査

提出された調理実技動画の観察及び作品紹介の発表動画による審査とする。

(3) 審査基準

項 目	内 容
アイデア・オリジナリティ	テーマに則しており、料理としての創意工夫がみられるか。
食文化	郷土の食材を生かし、食文化を伝承する要素があるか。
見栄え	見た目がよく、素材が生かされているか。
栄 養(第1次審査のみ)	栄養バランスがとれているか。
作業態度(第2次審査のみ)	効率よく時間内に調理できたか。 材料の使い方に無駄がないか。 調理作業が衛生的且つ安全であるか。
作品紹介(第2次審査のみ)	趣旨に基づいた作品紹介ができたか。 表現方法が適切であったか。 わかりやすく伝える工夫がされていたか。

(4) その他

提出された動画は、全国産業教育フェアホームページに掲載する。
(掲載に当たっては、編集等の可能性がある。)

7 表彰

オンラインにて実施する。

対象校には後日、「募集・問合せ担当校」よりURLを送信するので、接続準備を整えておく。

整理番号

**第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「全国高校生クッキングコンテスト」参加申込書**

地区名	北海道 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)	都道府県名		
学校名 <small>ふりがな</small>	高等学校			
所在地	〒			
	TEL FAX			
担当者 <small>ふりがな</small>				
	E-mail			
	学科	学年	性別	生徒名 (ふりがな)
1				()
				()
2				()
				()
3				()
				()
4				()
				()

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

※ 応募校は、応募する全ての生徒名を記入すること。

※ 様式 9 - 1 及び様式 9 - 2 を併せて、7 月 20 日 (火) から 8 月 13 日 (金) (必着) までの間に送付すること。

**第 3 1 回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉 2 0 2 1
「全国高校生クッキングコンテスト」エントリーシート**

ふりがな 学校名	高等学校			
学科・学年	科	年	科	年
ふりがな 生徒名				
作品の タイトル			対象者	
献立				
完成写真	※写真の裏に学校名、生徒名を記入し、のりでしっかり貼ってください ※完成時の写真内容は実施当日の調理内容と相違しないように注意してください			
アピール ポイント				

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

●材料と分量、作り方

献立	材料	分量	作り方		
	Kcal	費用		円	調理時間 分

※調味料を含め、1食分を記載する。

※地域の特産物には、材料の末尾に【特産】と明記する。 例：深谷ねぎ（長ねぎ）【特産】

※行が不足する場合は、適宜追加する。

**第31回全国産業教育フェア埼玉大会
さんフェア埼玉2021
「全国高校生介護福祉研究発表会」募集要項**

1 趣 旨

福祉を学ぶ高校生が、福祉に関する確かな知識、技術、態度に裏付けられた思考力、判断力、表現力を養うため、以下を目的として実施する。

- (1) 発表への学習を通して人間の尊厳と自立を支え、自立生活の支援の展開について考える機会とする。
- (2) 出場校のメンバー同士がチームとして一丸となり、課題に取り組むことで課題解決する力を育成する。
- (3) 他校の発表を自由に閲覧することで、生徒・教員が互いに学びあい、今後の学習場面、教材研究に活かせるものとする。

2 日 程

期日 令和3年10月30日（土）

3 会 場

ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1丁目17-17

<https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

4 内 容

- (1) 発表方法 パワーポイントや動画などを活用して発表する。
- (2) 発表内容 サービス利用者の情報シートを読み取り、利用者の生活課題を一つ挙げ、ICFに基づき解決に向けての支援方法を研究し発表する。
※課題の詳細は、8月下旬までに出場校に連絡する。
- (3) 発表時間 10分以内
- (4) 出場資格 全国の高等学校で福祉を学ぶ生徒
※1チーム同一校 発表者3名、各ブロックの代表校1校（九州ブロックは2校）、開催県1校の計11校
※代表校は、エントリーシートをホームページよりダウンロードし、事務局へ提出する。
- (5) エントリー 各ブロックの代表校は、8月27日までに大会ウェブページからエントリーシートをダウンロードし、高校生介護福祉研究発表会「募集・問合せ担当校」に電子メールで申し込むこと。
- (6) 審査方法
 - ① 審査 大会本部が作成した審査基準に則り審査を行う。
 - ② 審査員 高等学校の福祉教育に理解の深い学識経験者等をもって充てる。
- (7) 閲 覧 全国産業教育フェア埼玉大会ホームページ上に大会期間に合わせて掲載する。

5 表 彰

最優秀賞 1校 優秀賞 2校 奨励賞 8校

オンラインにて実施する。

対象校には後日、「募集・問合せ担当校」より URL を送信するので、接続準備を整えておく。

6 その他

- (1) 発表映像は、感染予防に配慮し、生徒が発表している場面とする。
- (2) Web 上に一定期間公開される為、事前に本人・保護者に許可を得る。
- (3) 出場校が発表映像を事務局へ送付し、事務局が Web 上掲載の準備を行い、10 月 30 日（土）午前 9 時以降に公開する。

(4) 募集・問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担当者
埼玉県立 誠和福祉高等学校	〒348-0024 埼玉県羽生市大字神戸 706 番地 TEL 048-561-6651 FAX 048-560-1051 E-mail:nakajima.yoshino.08@spec.ed.jp	校 長 鈴木 雅道 担当者 中嶋 芳乃 (福祉科)

7 実行委員会事務局

第 31 回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局

(埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課内) 担当 原口 真理子

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6769 FAX 048-830-4959

大会ウェブページ <https://sanfair2021.spec.ed.jp/>

参 加 申 込 方 法 等 一 覧

募集内容		※申込 タイプ	ページ	締切日	送付先 (受付・問合せ担当校)
1	作品展示	A	1～3	7月30日(金)	第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行 委員会事務局 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 担当者 山内 基弘 TEL 048-830-6769／FAX 048-830-4959 E-mail : a6760-05@pref.saitama.lg.jp
2	ネット販売	B	4～5	調整中のため、 後日HPで発表	第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行 委員会事務局 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 担当者 中田 力哉 TEL 048-830-6769／FAX 048-830-4959 E-mail : sanfair2021-hanbai@spec.ed.jp
3	作品・研究発表	A	6～8	7月30日(金) 8月31日(火) ※発表原稿	埼玉県立幸手桜高等学校 〒340-0111 埼玉県幸手市北1-17-59 校 長 出井 孝一 担当者 剣持 幹子 TEL 0480-42-1303／TEL 0480-40-1024 E-mail : sanfair2021-kenkyu@spec.ed.jp
4	意見・体験発表	A	9～11	7月30日(金) 8月31日(火) ※発表原稿	埼玉県立幸手桜高等学校 〒340-0111 埼玉県幸手市北1-17-59 校 長 出井 孝一 担当者 剣持 幹子 TEL 0480-42-1303／TEL 0480-40-1024 E-mail : sanfair2021-taiken@spec.ed.jp
5	第20回全国高校 生フラワーアレン ジメントコンテス ト	B	12～18	8月6日(金)	埼玉県立いずみ高等学校 〒338-0007 埼玉県さいたま市中央区円阿弥7-4-1 校 長 小川 剛 担当者 中村 健司 TEL 048-852-6880／FAX 048-840-1047 E-mail : sanfair2021-flower@spec.ed.jp

6	第29回全国高等学校ロボット競技大会	B	19～35	[仮申込] 7月12日(月) ～7月16日(金) [本申込] 9月27日(月) ～9月30日(木)	埼玉県立越谷総合技術高等学校 〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町3-100-1 校長 市村 洋子 担当者 森木 秀明 TEL 048-966-4155/FAX 048-960-1185 E-mail : sanfair2021-robot@spec.ed.jp
7	第41回全国高校生プログラミングコンテスト	B	36～39	5月28日(金) ～8月6日(金)	埼玉県立三郷工業技術高等学校 〒341-0003 埼玉県三郷市彦成3-325 校長 石塚 貴久 担当者 稲田 正之 TEL 048-958-2331/FAX 048-949-1024 E-mail : sanfair2021-procon@spec.ed.jp
8	全国商業高校生リテールマーケティングコンテスト	B	40～42	7月15日(木)	埼玉県立浦和商业高等学校 〒336-0022 埼玉県さいたま市南区白幡2-19-39 校長 内田 靖 担当者 手島 明良 TEL 048-861-2564/FAX 048-836-1057 E-mail : sanfair2021-retail@spec.ed.jp
9	全国高校生クッキングコンテスト	B	43～50	7月20日(火) ～8月13日(金)	埼玉県立越谷総合技術高等学校 〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町3-100-1 校長 市村 洋子 担当者 七社 早紀子 TEL 048-966-4155/FAX 048-960-1185 E-mail : sanfair2021-cooking@spec.ed.jp
10	全国高校生介護福祉研究発表会	A	51～52	8月27日(金)	埼玉県立誠和福祉高等学校 〒348-0024 埼玉県羽生市大字神戸706 校長 鈴木 雅道 担当者 中嶋 芳乃 TEL 048-561-6651/FAX 048-560-1051 E-mail : sanfair2021-welfare@spec.ed.jp

【申込タイプ】

A 学科別の全国高等学校長協会の選出によるもの

- 選出は、各学科の全国高等学校長協会の推薦により行われます。
- 選出された学校から提出された参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。

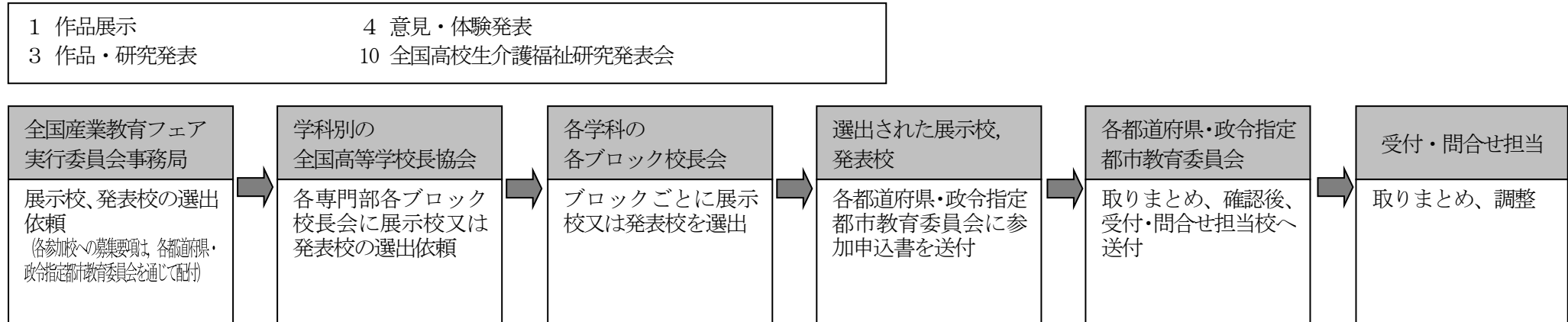
B 全国の関係高等学校に募集するもの

- 貴管内の専門高校・専門学科等に募集し、参加申込書を取りまとめ、申し込んでください。

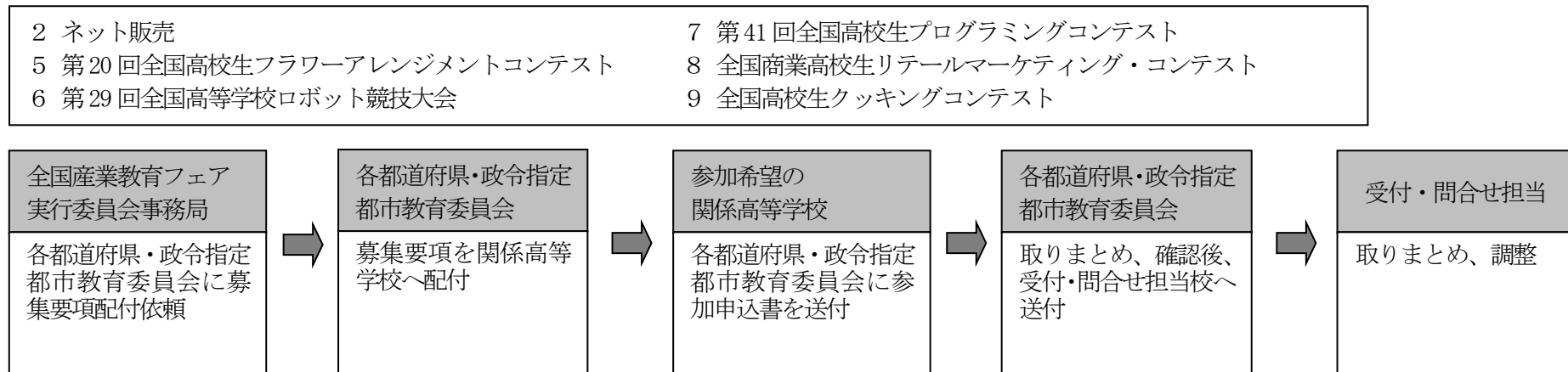
※ A・Bのいずれについても、各都道府県・政令指定都市教育委員会が取りまとめ、受付・問合せ担当校へ送付する。

第3 1回全国産業教育フェア埼玉大会に係る募集・応募フロー

A 学科別の全国高等学校長協会の選出によるもの



B 全国の関係高等学校に募集するもの



〈募集・参加関連日程〉

- ・ 令和3年6月下旬頃 開催要項（確定版）、募集要項（確定版）を大会ホームページに掲載。
また、各都道府県・政令指定都市教育委員会及び学科別の全国高等学校長協会に送付。